



# TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成22年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 平成22年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot⑰

p11 クラブ活動紹介㉘

p17 Campus Topics

p19 平成22年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

## 後援会副会長挨拶

# 社会人としての生活に向けて

この度、副会長を仰せつかりました平です。いずれは学生から社会人になれる皆様の糧になればと考え、私見ですが3点だけ述べさせていただきます。この3項目は、今まで私が、特に若手社員に事あるたびに語ってきたことの一部です。

まず第1は、健康であること、自分で体調管理をすることです。学生の皆さんもそうですが、社会人としても『体力が勝負』と言われており、身体的に健康なことは基本であります。精神的にも健全なことが求められます。既に身体面でも精神面でも病を持っている人は、あるいはこれから先、図らずも病にかかった人は、自分の病を定期的にチェックし、病を克服するため、あるいは一生病と共に生活するため、投薬やリハビリを含め治療方法を自分のものに調整管理してください。

第2には、物事に前向きに取り組むこと、勇気を持って問題を乗り越えることです。出来ない言い訳はいくらでもありますし言い易いものです。いろいろな問題点を見付け出し、解決方法・手段を考え実行してみてください。間違いだったら遣り直せばいいのです。

第3は、外の世界に目を向けることです。今自分のいる小さな世界に閉じ籠らず、国内は勿論のこと、海外に対しても目を向けてください。特に、今日では海外の動きを注視することです。人権や民族、宗教、国家体制、あるいは慣習や法律等の違いを理解する必要があり、当然そのためには外国語の習得は不可欠です。そして日本のメディアだけではなく海外のメディアにも注目してください。

少なくとも以上3点をその都度意識しながら、将来、社会人としてその生活を送ってほしいと思います。



東京都市大学  
後援会副会長

平 博光

# 平成22年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

例年通り、後援会と大学の共催により全国各地で実施されてきた「大学と保護者との連絡会」。平成22年度は、10月2日(土)、世田谷、等々力、横浜3キャンパスでの連絡会をもって、無事に幕を閉じることができました。ここでは参加された保護者の皆様の感想などをまじえ、当日の様様をご紹介します。

「大学と保護者との連絡会」は、学生指導に深く関わる教職員やOB(武蔵工業会支部)の方々が各会場に出向いて、大学の現況、学生生活・課外活動の様子や最新の就職状況などについて説明するとともに、保護者の方々からの日頃から抱えている疑問・質問などに回答する、文字通り双方向の“連絡会”です。平成22年度は東京都市大学への改称から2年目ということもあり、全国22会場で開催された連絡会は、例年にない酷暑にも関わらず、多数の参加者に恵まれました。最終開催日となった10月2日も、東京・横浜地区の最高気温は34度超。秋とは思えぬ熱波に見舞われましたが、世田谷キャンパスに約1,100名、横浜キャンパスに約420名、等々力キャンパスにも約160名の保護者の皆様にご参加くださいました。

世田谷キャンパス

## 「就職に強い大学であり続ける」との 力強いメッセージに賛辞の声

世田谷キャンパスでは、午前11時からの受付を済ませた



堀内 忠 後援会長



中村 英夫 学長

保護者の皆様が、まず14号館1階の学生食堂でランチ。図書館、建築学科棟などキャンパス内や、課外活動(混声合唱団)を見学し、午後1時から全体説明会に臨みました。

最初に壇上に立った中村英夫学長は、保護者最大の関心事のひとつである就職について多くの時間を割き、武蔵工業大学時代から培ってきた“就職に強い大学”というイメージを堅持すべく、単位認定型の長期インターンシップ導入や、企業報告会、公務員試験対策などキャリアサポートを充実させている旨を報告。また、「家庭で、就職について話し合う機会をできるだけ持っていただきたい」と助言されました。続く、片田敏行工学部長は、学部の教育方針である「ものづくり人材の育成」に引き続き注力していくとした上で、「授業だけでなく、課外活動などを通じて、生きる姿勢を学



全体説明会(世田谷)

## 世田谷キャンパス

## 参加された保護者の方々の感想



牛窪 一樹君(機械1年)のお父さん

校舎がとてもきれいで、とくに図書館は展示内容も面白く、楽しませていただきました。息子もしっかり学習していることと思います。



濱田 亮君(都市3年)のご両親

主に就職のことを聞きに来ました。英語力の乏しさが問題だと伺ったので、留学生生との交流なども活発化してほしいですね。



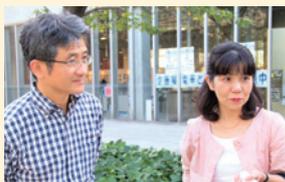
松浦 絵理さん(情報科学1年)のご両親

学食の建物がきれいで、味も良く種類も豊富でした。ただ多少狭いように感じました。昼休みには混むのでしょうか。



萩野谷 岳君(機械システム2年)のお母さん

やはり就職のことが一番気になります。現状がとても厳しいことも含め、世の中の状況について直接話を聞け、ためになりました。



宮島 奈緒さん(建築3年)のご両親

学科・学年別説明会での、就職に関する説明が有意義でした。具体的な数字を教えたもらったので、非常にわかりやすかったです。



西沢 耕平君(機械3年)のご両親

個人面談にまいりました。先生と直接お話しすることができ、嬉しく思います。都市大は、“親と大学”との距離が近い大学ですね。



小俣 良隆君(建築3年)のご両親

毎回の会に来るのを楽しみにしています。今回は大学側がさまざまな就職支援に取り組んでいると分かり、安堵しています。

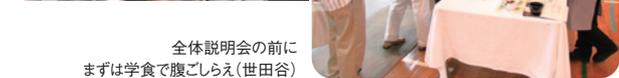


依藤 貴昭君(情報科学2年)のご両親

大学院への進学や就職のことを色々うかがいました。学食は値段も手頃でおいしかったですね。学生にはちょうど良いでしょう。



混声合唱団の美しい歌声に陶醉  
(世田谷)



全体説明会の前に  
まずは学食で腹ごしらえ(世田谷)

んでほしい」と要望。宮内新知識工学部長は「学生に満足してもらえよう、授業改善、進学就職支援、研究の充実に取り組んでいる」と話されました。最後に堀内忠後援会長が、学生の課外活動や行事などキャンパスライフの支援に加え、就職活動や緊急奨学金など生活面の援助など多岐にわたる後援会の活動を紹介し、「保護者と大学とが交流を深めながら、学生を支援していきたい」と結びました。その後、各学科・学年別の説明会と懇談会、希望者への個人面談が行われ、午後3時過ぎに閉会しました。

横浜キャンパス

環境情報学部らしい取り組みに  
保護者の方々も「感心しました」

横浜キャンパスでは、午前9時50分から受付スタート。昨年同様多数の保護者が参加されたため、2つの教室に分かれ、これらを連携する形で、10時20分、全体説明会が始まりました。

その中で中村学長は、就職について「現在も非常に厳しい状況が続いているが、この難局を乗り切るためにも専門的な技術と知識を身につけることが大切。何でもやるという学生でなく、専門性の高い人材の育成を目指している」と力強く語り、堀内後援会長も「我々後援会は、これからも大学の求め

る学生像への手助けを惜みずにしていきたい」と大学の取り組みを側面から支援することを明言されました。

続く増井忠幸環境情報学部長は、大学として初めて環境ISOを取得した同学部のエコロジカルキャンパスの概要を簡単に紹介し、「このキャンパスには、自分のやりたいことのできる環境が整っている。夢に向かって有意義な学生生活を送ってもらえるよう、様々な面から支援します」と宣言。さらに小堀洋美大学院教務委員長、中原秀樹YCキャリア委員会委員長から、それぞれ学修・大学院進学と、就職に関する取り組みについて説明、報告がされました。

説明会の後、保護者の皆様は、各自学生食堂で食事を取ったり、キャンパス内を自由に見学したりと、しばし学内の雰囲気を楽しみ、とりわけ中庭に新しく作られたピオトープには多くの方が興味津々で、「いかにもこの学部らしい環境に配慮した取り組み」との感想もいただきました。

午後1時からの学科・学年別懇談会では、やはり就職関連の話題に注目が集まり、質疑応答も活発に行われました。

等々力キャンパス

学部創設から1年。保護者の熱意がキャンパスを席巻

等々力キャンパスでは、午前10時50分の受付開始時刻のかなり前から保護者の皆様が長い列を作りました。



全体説明会(横浜)



中庭に設けられたピオトープ(横浜)

横浜キャンパス 参加された保護者の方々の感想



佐藤 允哉君のご両親  
(情報メディア4年)  
毎年参加しておりますが、これで最後。ゼミの先生にお礼を申し上げたいですね。キャンパスの風景を目に焼き付けてから帰ります。



山崎 直子さんのご両親  
(環境情報1年)  
単位や成績のことが聞きたくて。就職情報にも関心があります。このキャンパスはとても環境が良く、娘は喜んで大学に通っています。



坂本 太郎君のお母さん  
(環境情報4年)  
説明を聞いて、改めて就職状況が厳しいことを認識しました。本当に知りたい情報をオープンに提供してくれた大学に感謝します。



佐久間 星人君のお母さん  
(情報メディア4年)  
今までは大学生の親がわざわざ来る必要もないと思っていました。初参加して、もっと大学のことに関心を持つべきだったと感じました。



竹下 沙希さんのご両親  
(環境情報3年)  
キャンパスの環境がとても素晴らしいですね。これからもここから有為な人材を社会に送り出してもらいたいと思っています。



松田 健史君のお父さん  
(情報メディア2年)  
学部長が仰っていたように、このキャンパスを見ると、学生が望みさえすれば、本当にどんなことでも学べるような気がします。

午前11時20分から定刻通りに始まった全体説明会では、中村学長が、都市生活・人間科学両学部の新設後、大学全体の社会的評価が上がっていることを報告。「学生たちには国際的に活躍するため、学生時代に海外を体験してほしい。そのためには英語力を強化していくことが大切」と述べられました。続いて、堀内後援会長は「学生をサポートしていく上で、保護者のご協力は不可欠」と、今後引き続きのご支援を仰がれました。

その後、保護者の方々は地下1階の学生食堂に移動し、近隣住民の方からも「おいしい」と評判のメニューに舌鼓を打ちました。さらに「世界遺産研究会」(本誌15ページ参照)による課外活動や学内施設を見学され、午後1時30分からは、各学科に分かれての説明会と懇談会に参加。「都市生活学部が好調なので、他大学でも同じような学部学科を設立しようとの動きがある」などの説明に時折メモを取りながら熱心に耳を傾け、終了後は教職員に積極的に質問をされて

いました。保護者の方々の真剣な気持ちがひしひしと感じられた等々力キャンパスの連絡会は、午後3時30分過ぎ、幕を閉じました。



学食ではおいしい日替わりランチに舌鼓(等々力)

3キャンパスの連絡会に参加された保護者の皆様からは、「子どもがどんなキャンパスで学んでいるのか、足を踏み入れて初めて実感できた」「社会に出た後で、この大学の卒業生で良かったと思ってもらいたい」など、さまざまなお言葉を頂戴しました。

今年度、全国各地の連絡会にご参加いただいた保護者は合計1,517世帯。来年はさらに多くの方が参加されますようお願いいたします。

[取材担当 東京都市大学 新聞会]

全体説明会(等々力)



学科・学年別説明会(等々力)

## 福岡会場

### 関心の高さは成績について

横浜キャンパス 学生支援センター 外智晃

平成22年度「大学と保護者との連絡会」福岡会場は、平成22年9月12日(日)午前10時より、ホテル日航福岡で開催され、17世帯25名の保護者の皆様にご参加頂きました。

本会では、世田谷キャンパス副学生部長の渡辺一郎教授、知識工学部情報ネットワーク工学科の今井章久准教授から、近況報告、学修(授業・成績)について、学生生活について、就職・進学について等、プロジェクターを利用しながらの説明が行われました。成績、就職、進学については詳細なデータをもとに説明が行われ、会場に訪れた保護者の方々は、真剣な眼差しで時折メモをとられ、熱心に耳を傾けておられました。

最後の個別面談には、多くの方が相談に訪れました。相談内容は主に、成績状況について、大学院進学について、課外活動について等、本会では「就職」といったキーワードよりも、まずは「成績」といったことへの関心の高さを感じました。1、2年生の保護者の参加が多かったという理由もありますが、まずは「卒業(学位を取得)して欲しい」という強い願いを感じることができました。

2時間という短い時間でしたが、福岡会場の保護者の方々と交流し、とても貴重な経験をする事ができました。遠く離れた場所にも、我々「東京都市大学」を信じ、見守ってくださる多くの皆様が存在することを改めて実感すると同時に、責任も強く感じました。今後もこの会で得た経験を日々の業務の中で活かし、都市大の発展・運営に役立てていければと思います。



## 等々力キャンパス 参加された保護者の方々の感想



高屋 麻記さん(都市生活1年)のお父さん  
初めてこのキャンパスに来ました。小さいけどきれいですね。全体説明会での「英語力を高めるべき」というお話が印象的でした。



小川 唯子さん(都市生活1年)のお母さん  
学長の考えや方向性が理解しやすかった。キャンパス内もきれいで、学生たちが校舎などを大切に使っているのが分かりました。



柳田 真代さん(児童1年)のお母さん  
大学が求める学生像や、就職のこと、どんな授業をしているかなどを聞きに来ました。全体説明会はとても分かりやすかったです。



山本 響子さん(児童1年)のお父さん  
私は工学部出身なので、女子学生が多いことに驚きました。コンピュータでどうやって英語を勉強するのが、とても興味深いですね。

# 平成22年度 就職動向と支援

## ① 「早く」「長く」「複雑に」厳しさを増す就職氷河期の現実

平成22年3月卒業生の就職戦線は、これまで類を見ないと言ってよいほどに厳しいシーズンとなりました。各種報道にもありますように、就職活動に失敗した学生は13万人とも14万人ともいわれ、多数の学生が就職留年・就職浪人という選択を余儀なくされました。

就職活動は年々「早くスタート」し、「長期間にわたって続く」だけでなく、「選考プロセスが複雑化していく」傾向にあります。「就職活動の前哨戦」とも言われるインターンシップへの参加も含めると、3年生の6月から卒業まで、4年間しかない学生生活の中で、相当な長期間にわたって就職活動を続けなければならない学生も現れ始めています。

また、就職戦線が厳しさを増すことで、内定獲得への不安を抱える学生が「少しでも多くエントリーしておきたい」という心理状態に陥り、企業へのエントリー(採用試験への申込)を倍増させていることから、大手企業のみならず、中小企業の選考でも競争が激化しています。

そのため、初期段階の選考からかなり厳しい絞り込みが行われており、面接においても、「自己分析」に基づいて、よりわかりやすく、具体的に自分自身をPRすることが求められ、勉強はもちろんのこと、課外活動やアルバイトなど、幅広い活動の中で自分自身を売り込んでいく姿勢が求められるようになってきました。

その一方で、「就業意識が希薄」「仕事理解が不十分」な学生も目立つようになってきており、「エントリーをしている学生のうち、実際に評価できる学生は少数しかいない」と言われるような、学生の希望と企業のニーズがマッチしないという矛盾や、特定の学生のみにも内定が集中する「二極化」といった現象も現れ始めています。

また、安定志向の強まりから、大企業への人気集中するだけでなく、公務員の人気が急激に高まっています。更に、首都圏の求人数に対して地方の求人は圧倒的に少ないことなど、学生を取り巻く環境は依然として厳しさを増している状況です。

## ② 本学の取組、「キャリアセンター」の設立

平成22年9月1日、更なる学生サービスの向上を目指し、大幅な事務組織の改組を行いました。これにより、従来あった世田谷キャンパス「就職課」、横浜キャンパス「学生サービスセンター」を統合し、横断的な支援を行う「キャリアセンター」として生まれ変わりました。

もちろん、新キャンパスである等々力キャンパスにも「キャリアセンター」が設置され、3キャンパスすべてにおいて、従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般にかかわる幅広く充実したサービスを提供できる体制として新たなスタートを切ることになりました。

もちろん、各キャンパスには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることが出来ます。常駐している職員

のうち6割がキャリアカウンセラーの有資格者となっており、キャリアにかかわることはどんなことでも安心してご相談頂けます。また、過去の先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、就活支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しております。

学生の進路に関する意識が多様化し、更に厳しさを増す就職戦線に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力致しますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ③ 本学の支援

こうした状況に対応すべく、本学では先にご報告致しました通り、「キャリアセンター」を創設し、総力を挙げて就職支援に取り組んでおります。キャリア支援担当者の増員をはじめ、各キャンパスの強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。

学内で実施している就職支援行事は100回以上にのぼり、徹底して就活スキルを磨きあげています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えております。

もちろん個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い指導を行っております。

また、ゆっくりと資料を閲覧したり、履歴書等の作成に利用できるフリースペース、詳細な企業研究にも活用できるPCスペースの拡充や、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しております。

## ④ 今年度の状況

今期の就職状況は全国的に非常に厳しい結果となっており、文部科学省発表の10月1日時点での内定率は「57.6%」と、1996年に統計を取り始めて以来最も低い数値となりました。本学では現時点で工学部が82.1%、知識工学部が82.1%、環境情報学部が62.8%、大学院工学研究科が86.3%、環境情報学研究科が56.3%となっており、全国平均に比べても十分健闘をしております。文理融合型の学部である環境情報学部・環境情報学研究科では今般の就職氷河期の影響を受けた結果となりましたが、例年以上に学内での企業セミナーや合同説明会(8月以降合計で5回・述べ100社以上参加)を実施するなど、なお一層の内定支援を展開しております。

今期は就職環境の厳しさもさることながら、就活生の「モチベーションの維持」「動き続ける姿勢」が重要なポイントとなっております。キャリアセンターでは多数の「本学学生だけの求人」を含め、まだ十分に求人情報もごぞいます。現在も活動中の学生への支援を最優先にしておりますので、ぜひ大学のキャリアセンターを活用されるよう、学生ご本人にご指導頂ければ幸いです。



# 平成22年度 主な就職内定先企業等 (平成22年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

## 工学部・知識工学部・大学院工学研究科

■ 輸送用機器	東芝……………4	小田急電鉄……………1
本田技研工業……………3	ミネベア……………4	■ 建設
日産自動車……………2	富士電機ホールディングス…3	大成建設……………6
いすゞ自動車……………2	リコー……………2	鹿島建設……………6
トヨタ自動車……………1	NEC……………2	前田建設工業……………4
スズキ……………1	富士通……………2	東急建設……………4
■ 機械	日本電産……………2	清水建設……………3
富士重工業……………3	村田製作所……………1	大林組……………2
日本発条……………2	■ 情報通信サービス	積水ハウス……………2
東芝機械……………2	NECソフト……………4	■ その他
小松製作所……………1	日立ソフトウェアエンジニアリング…3	東京都庁……………5
■ 精密機械	NTTデータ……………2	NTTファシリティーズ…4
キヤノン……………2	ヤフー……………2	大日本印刷……………3
アロカ……………2	KDDI……………1	日本工営……………2
セイコーエプソン……………1	■ 電力	成田国際空港……………1
オリンパス……………1	東京電力……………3	川崎市役所……………2
ニコン……………1	中部電力……………1	世田谷区役所……………1
シチズン時計……………1	■ 運輸	
■ 電気機械器具	JR東日本……………6	
日立製作所……………10	JR東海……………3	
三菱電気……………7	西武鉄道……………2	

## 環境情報学部・大学院環境情報学研究科

■ 電気機械器具	NECネットエスアイ…2	■ 運輸
日立製作所……………6	東芝ソリューション…2	日本通運……………3
キヤノン……………2	富士ソフト……………2	JR東日本……………1
京セラ……………2	NECソフト……………1	東京メトロ……………1
日本電気……………2	NTT東日本……………1	■ 建設
富士通……………2	TIS……………1	積水ハウス……………3
シャープ……………1	コナミデジタルエンタテインメント…1	住友林業……………3
パナソニック……………1	野村総合研究所……………1	大和ハウス工業……………1
三菱電機……………1	日本ユニシス……………1	東急建設……………1
山武……………1	日立ソフトウェアエンジニアリング…1	パナホーム……………1
■ 輸送用機器	マイクロソフト……………1	■ 小売・卸売
スズキ……………1	■ 放送・出版・印刷	セブンイレブン・ジャパン…2
本田技研工業……………1	イツコムコミュニケーションズ…2	ファミリーマート……………1
東急車輛製造……………1	産業経済新聞社……………1	日本出版販売……………1
■ その他製造	凸版印刷……………1	■ 金融
アステラス製薬……………1	■ サービス	住友生命保険相互会社…2
伊藤忠食品……………1	ヤフー……………2	JA全農……………1
塩野義製薬……………1	エン・ジャパン……………1	■ その他
マルハニチロ食品……………1	東急コミュニティー……………1	立川市役所……………1
■ 情報・通信	■ 不動産	東京消防局……………1
NTTデータ……………3	東急リハブル……………3	

## 採用活動・進学スケジュール

3 年 生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント			前哨戦スタート 就職サイトオープン & インターンシップ					本格スタート エントリー開始 & 就活セミナー		いよいよ本番 採用試験スタート		
民間企業 (大手企業)			就職サイトオープン				プレエントリー		エントリー			
			インターンシップ 説明会・セミナー		インターンシップ				会社説明会			採用試験
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)										国家公務員	公 告 地方公務員	
進 学			大学院に進学するか、就職するか熟慮 (年内を目処に) 進学的意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始								指導教授等と相談の上 進学先の決定	

4 年 生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント		内々定ピーク										
民間企業 (大手企業)		エントリー					内定	10月以降も継続して採用を行っている企業があります。内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう				内定
		会社説明会										
		採用試験										
公務員	受付期間	1次試験	2次試験	最終合格			内定					
	公 告	受付期間	1次試験	2次試験	最終合格		内定					
進 学 (本学の場合)	大学院推薦入試 (A日程) 願書提出 / 試験				大学院一般入試 (B日程) 願書提出 / 試験				大学院一般入試 (C日程) 願書提出 / 試験			

# 本学の就職支援スケジュール

世田谷キャンパス (SC) 就職支援	1年生	2年生	3年生							
	技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう!		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)		就活基礎力養成			公務員対策		いざ!本番に向けて、本エントリー攻略		
	4月: ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス  6月: インターンシップ対策講座  8月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポート フォローアップガイダンス  6月: インターンシップ対策講座  8月: インターンシップ等に積極的に参加	プログラム就職支援 ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス	公務員試験対策講座(集中講座)	・就職ガイダンス(Uターンガイダンス含む) ・進路適性検査 ・就活セミナー ・履歴書・ES対策講座 ・SPI模試					
3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。		プログラム実践直結								

横浜キャンパス (YC) 就職支援	1年生	2年生	3年生							
	進路・勉強方法を考えよう!		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	徹底的な書くチカラの強化...毎回のガイダンスにて400字の作文<履歴書・ES・面接対策>		就活基礎力養成		仕事・企業を知る			本エントリー攻略		企業のダイナミズムを知る
	4月: ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス ・自己分析キャンペーン  5月: インターンシップ対策講座  8月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポート フォローアップガイダンス ・自己分析キャンペーン  5月: インターンシップ対策講座  8月: インターンシップ等に積極的に参加	プログラム就職支援 ・職業適性検査 ・就活入門ガイダンス ・インターンシップ ・SPI模試・解説 ・職種ガイダンス	・業界研究会(全5回) ・質問力養成講座(全3回) ・内定者懇談会 ・環境就職相談会	・文章力強化講座(全5回)		・業界研究会(全8回)			
3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。		自己分析キャンペーン	インターンシップ対策講座	夏期セミナー	公務員講座	進路個人面談	セミナー対策			
		全学年対象	全4回×5コース開講 第1回基礎編 第2回自己PR 第3回志望動機 第4回完成編	グループワーク 自己分析	全学年対象 SPI対策も 同時開催	・3年生全員対象 ・1人1人の進路に合わせて個別指導	・業界研究会研究 ・自己表現強化講座 ほか			
		プログラム実践直結								
資格講座(全学年対象となります)：5月～12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 9月 公務員・SPI試験対策講座										

等々力キャンパス (TC) 就職支援	1年生	2年生	3年生								
	授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
	進路を考えよう!		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!								
	少人数から個別対応での就職支援		就活基礎力養成			公務員対策		いざ!本番に向けて!本エントリー攻略			
4月: ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス  6月: インターンシップ対策講座  8月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポート フォローアップガイダンス  6月: インターンシップ対策講座  8月: インターンシップ等に積極的に参加	プログラム就職支援 ・キャリアデザイン(講義) ・就職講演会 ・SPI模試・解説	・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・業界研究会	公務員試験対策講座(集中講座)	・就職ガイダンス ・就活セミナー ・SPI模試			・進路適性検査 ・履歴書・ES対策講座			
3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。											
		プログラム実践直結						進路個人面談	セミナー対策		
								・3年生全員対象 ・進路に合わせて個別指導	・業界研究会 ・自己表現強化講座ほか		
等々力キャンパスは現在2年生までの在籍です。3年次以降のプログラムは予定となります。											



3年生				4年生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)											
				内定獲得まで諦めない支援											
最終総仕上げ ・履歴書・ES対策 ・筆記対策(SPI-一般常識) ・面接対策 ・GD対策		公務員対策 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・公務員試験模擬試験						進路相談強化 ・求人紹介など 内定直結型の支援を行う				個別指導の徹底 ・大学宛求人票を有効活用し、1人1人に求人紹介を行う ・進路未決定者に電話をかけ、現状把握と求人紹介を徹底的に行う			
学校推薦 ・学校推薦 ガイドランス	進路個人面談 ・3年生全員対象 ・学校推薦対象者決定 ・大学院進学希望調査							企業研究会 1日間 20社参加				企業研究会 1日間 30社参加			
企業研究会 4日間 100社参加 (全学部参加可)	模擬面接&GD講座 ・採用コンサル タントの先生に よる半日かけ の徹底講座	企業研究会 2日間 50社参加 (全学部参加可)													

3年生				4年生													
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
				徹底的な話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>													
				内定獲得まで諦めない支援													
最終総仕上げ ・履歴書・ES対策 ・筆記対策(SPI.CAB.GAB) ・面接対策 ・GD対策		絶対内定! ・履歴書/面接 の総点検 ・就活の現状 と対策		人事考課 ・企業の 評価基準 を考える				進路相談強化 ・進路面談カードを 元に面談 ・求人紹介など内定 直結型の支援を行う				個別指導の徹底 ・大学宛求人票と進路面談カード を有効活用し、1人1人に求人 紹介を行う		フォローガイド ・履歴書 ES作成 面接攻略法		個別就職支援 ・進路面談カードを利用し、未内定者に 電話をかけ、現状把握と求人紹介を 徹底的に行う	
模擬採用試験 ・説明会 ・面接 ・GD 全て体験	模擬面接&GD講座 ・採用コンサル タントの先生に よる半日かけ の徹底講座	企業研究会 3日間 150社参加 (全学部参加可)		学内企業説明会 ・学内にて説明会&選考 ・月・水・木曜日の16:45から開催				学内合同企業説明会 ・採用継続企業を1日 10社~20社を招聘 (数回実施)				学内企業説明会 ・学内にて 説明会& 選考		企業研究会 ・採用継続 企業10社 ~20社を 招聘			

3年生				4年生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				トビラの向こうへ! 「仕事を考える」就職活動スタート!											
				内定獲得まで継続される支援											
				就活指導・就活支援											
いざ体番に向けて!本エントリ攻略 ・履歴書・ES対策 ・筆記対策(SPI-一般常識) ・面接対策 ・GD対策		公務員対策 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・公務員試験模擬試験		進路相談強化 ・求人紹介など 内定直結型の支援 を行う				個別指導の徹底 ・大学宛求人票を有効活用し、1人1人に求人紹介を行う ・進路未決定者に電話をかけ、現状把握と求人紹介を 徹底的に行う				個別就職支援			
企業研究会 ・SC.YCと 連携	模擬面接&GD講座 ・採用コンサル タントの先生に よる徹底講座	企業研究会 ・SC.YC と連携	進路個人面談 ・3年生 全員対象					企業研究会 ・SC.YC と連携				企業研究会 ・SC.YC と連携			

## 等々力キャンパスの巻

2009年4月、本学は東横学園女子短期大学と統合し、5学部16学科を擁する総合大学、「東京都市大学」へと発展。同短期大学が使用していたキャンパスは、新しい文芸学部、都市生活学部都市生活学科と人間科学部児童学科の学舎として生まれ変わりました。今回ご紹介するのは、東急大井町線等々力駅から徒歩約10分、閑静な住宅街の中にあるこの「等々力キャンパス」。充実した施設の一部を学生の明るい笑顔とともにご案内いたしましょう。



### 1号館



ここは1号館と2号館の共通エントランス。手前の1号館(3階建て)には、主に人間科学部の学生たちが実践的な学修を進めるための教室が設置されています。ここで紹介した以外に、グランドピアノ他、多岐にわたる楽器類が備えられた「音楽室」や、実物大の赤ちゃん人形などさまざまな育児用教材が揃った「小児保健実習室」、語学演習用に用いられる「メディアラボ」などもあります。

### 学科事務室

1号館に入ると、すぐ右手に両学部学生のための学科事務室があります。「学生さんからは、学習面からプライベートまで、いろいろと相談されます。モットーは「いつも笑顔で」と、事務員の遠藤真木子さん(右)と西村美佳さん。



### 2号館



1号館と2号館の間には、鯉が泳ぐ噴水など憩いのスペースが広がります。突き当たりの2号館(4階建て)には、学生ホールや、都市フォーラム、スタジオシアターのほか、教員の研究室や、都市生活学部のための「製図室」、人間科学部が使う「調理実習室」、坪庭付きの本格的な「茶室」などがあります。

### 1F 学生ホール

軽食や飲み物を販売。焼きたてのパンが大人気で、昼休みには両学部の学生たちでいっぱいになります。子育て支援センター「ぴっぴ」の帰りにちょっと腹ごしらえをする近隣の方もちらほら。奥のショップでは文房具など学修に必要なものや日用雑貨が揃っています。

左から都市生活1年の斎藤佑樹君、佐賀良健斗君、栗林真広君。「都市全般について学べる、他にはない学科ということで進学しました(斎藤君)」、「社会の第一線で活躍していた先生が多いので勉強になります(佐賀良君)」、「いながらにして感性が鍛えられる環境です(栗林君)」。ちなみに今日のランチは、斎藤君が持参のお弁当、佐賀良君は焼きそば、栗林君はおむすびでした。



### 1F ピアノ演習室

31の個室に35台のアップライトピアノを備えています。人間科学部の学生は、授業時間以外でも予約すれば使用可能。1限と2限の合間に自習をしていた池蕙君(児童1年)は、「これまでは趣味でピアノをたしなんでいた程度でしたが、今は保育士目指して猛訓練中。ここは完全防音なので、周りを気にせずに思い切り練習できます」



### 2F 図画工作室

子どもの表現方法を学ぶために、学生たちが絵画・工作に取り組む教室。前の廊下には、グループ制作の作品がたくさん置かれています。自分たちの作品を紹介してくれた児童1年の鳥居茜さん、土屋友



梨恵さん、田中春野さん(左から)。「今回はさまざまな材料を使った立体作品を仕上げました。素材で遊ぶ力が表現力が身につきます」



### メディアラボ

各学生に一人ずつ、計35台のパソコンが設置されたメディアラボが2教室用意されています。この日は、都市生活1年の必修科目「デザインコンピューティング」の授業中。建築設計用のコンピュータソフトを駆使して、学生自ら建物のインテリアなどを決めていきます。担当の末繁雄一先生は、一級建築士で、都市計画などがご専門。「学生の自主性を伸ばしながら、潜在力を引き出すのが僕たちの仕事」と語ります。



榎原舞さん(左)は、「ソファの素材を検討しています。周囲とのバランスを考えるのが難しいけど、とっても楽しいですね」。お隣の三枝将君は「ただいま壁紙の材質を変更中。建物の根本的な仕組みを理解しながら、インテリアのことまで勉強できるので、非常にためになります」



## 2F スタジオシアター

先進のAV機器や照明装置などを備える多目的スタジオ。主に人間科学部の授業で用いられ、児童演劇や子どものためのダンス公演にも活用されます。今日の授業は、児童演劇のスペシャリスト、小林由利子先生による「保育内容表現指導法」。



学生たちがグループごとに靴下で作った人形劇を演じます。「ドラマ／演劇を通じて、遊ぶこと、考えること、発見すること、学ぶことの面白さを体感してほしいと思います」(小林先生)



靴下人形がお手製なのはもちろん、劇のストーリー、効果音やBGMも学生が自ら考えます。発表を前に、真剣な表情で最終チェックを行います。

## 3号館

1・2号館から道路を挟んですぐ。3号館(地上3階・地下1階建て)には、西洋風の瀟洒な中庭を中心に、学生支援センター(事務局)や、学生ラウンジ、学生食堂、図書館、子育て支援センター「びっぴ」、卒研スタジオなど、特色のある施設が配られています。中庭に佇立するのは、日本具象彫刻界の第一人者、桑原巨守先生による母子像。学生はもちろん、近隣のお母様方がお子さんと一緒に、パラソルの下で談笑する姿も時に見受けられます。



## 1F 学生支援センター(事務局)

道路に面した学生ラウンジの奥に、学生たちの質問や疑問に何でも答えられる学生支援センターがあります。ただいま事務局の高橋弘嗣さんが、課外活動の相談にきた女子学生の応対中。「後援会誌のお手伝いもさせていただいています。一読者としても、とくに『キャンパススポット』のコーナーは楽しみにしています」と高橋さん。ありがとうございます!



## 2F 子育て支援センター「びっぴ」

2004年に設立された等々力キャンパス内の保育施設。1日平均120人程度の保護者と子どもたちが利用しており、地域子育て支援の中核を担っています。人間科学部2～4年生はここで研修を実施。実践的な教育の場としても十分に活用されています。



東横学園女子短期大学時代に「びっぴ」を設立し、今もその運営を担う人間科学部教授の小川清美先生(後列)と、保育士の皆さん方。「ここに来て良かった、という保護者の方々の声を聞くこと、心から嬉しくなります。学生たちが保育現場を身近に感じられるので教育面でも大変有効です」(小川先生)

## 4F 都市フォーラム

都市生活学部の空間デザイン演習やプレゼンテーション、研究発表などで使われる多目的施設。2009年夏に完成しました。この日は、学生が発表したパネル展示が行われていました。

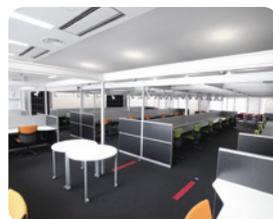


都市フォーラム前の廊下では、学部の教員たちによる、都市回廊をテーマとした「世界の街の写真展」を実施。ヨーロッパやアジア諸国の美しくもミステリアスな景観に、しばし嘆息。いながらにして、都市の何たるかを実感できる空間です。



## 3F 卒研スタジオ

2011年度に完成を予定。卒業研究をスムーズに進めていくためのさまざまなサポート機材や、ディスカッションを行うミーティングスペースなどが設置されます。



## 1F 学生食堂

近隣住民の方々にも開放。もちろん世田谷、横浜キャンパスの学生や教職員も利用できます。高級住宅街のただ中にある等々力キャンパスらしく、小洒落たカフェを彷彿とさせるスタイリッシュな内装が特徴的。美味しい、と評判の食堂です。

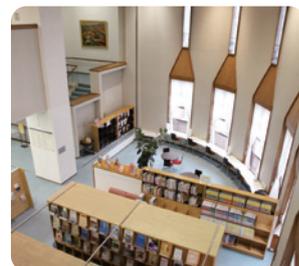


この日が誕生日という児童1年の溝口瑛大君は「日替わりのAランチに、栄養バランスを考えてプラス50円で小鉢をつけました。自分へのプレゼントです(笑)」。お隣の山口琴美さん(同)は、「私は原則としてお弁当。人間科学部の学生はみんな仲良しなので、和気藹々と学修しています」。お二人とも保育士が幼稚園教諭を目指しているそうです。

## 図書館

蔵書数約17万冊の図書館。学生選書ツアーを定期的実施しながら、利用者の声を聞き新たな蔵書を増やしています。

1階セキュリティゲートを入ると、カウンタースタッフが笑顔で迎えてくれます。フロアは開放的なラウンジやパソコンコーナーを設置し、資格取得に役立つ実用書・雑誌・絵本・辞典類などが配架されています。2階は、専門書を中心とした資料が配架され学修のスペースとして利用されています。



2階の学習コーナーで自習中の山崎美沙さん(都市生活1年)。「デスクにLANケーブルが設置されているので、インターネットで建築関連の情報を収集しています。建築士になりたくて頑張っています」と、将来の希望を聞かせてくれました。

2010年に創部50周年の節目を迎えた体育会「ヨット部」と、横浜キャンパスをベースに活動する同好会「映像メディアサークルCue」、そして昨年等々力キャンパスで産声を上げたばかりの愛好会「世界遺産研究会」。個性あふれる3団体の活動内容をご紹介します。

世田谷キャンパス

“洋上の頭脳戦”を制して……  
目指すはANIORU'sカップ優勝です

# ヨット部

顧問：片田 敏行（都市工学科教授）  
学生責任者：福岡 達也（環境情報学科3年）  
部員数：13名（うち女子部員3名）

主な活動

- 4月 新入生歓迎試乗会（三浦市諸磯）
- 5月 フチクルージング／通常練習
- 6月 横浜祭出店／通常練習
- 8月 夏合宿／整備／夏クルージング
- 9月 一般試乗会
- 10月 通常練習
- 11月 通常練習
- 12月 納会
- 1月 全日本学生外洋帆走連盟（ANIORU）納会
- 2月 春合宿／レース合宿
- 3月 ANIORU'sカップ



クルー同士の信頼感を養い  
洋上での安全性を高めるクルージング

今を去ること50年前、いかにも工学系単科大学（当時）らしく、創設メンバー自作のヨットで歴史を刻み始めた、伝統のヨット部。初代愛艇『アカモリ号』は、アカ（船内に浸出する水のこと）が漏れるからとその名が付けられたそうです。時が移って同部所有の『ランフェス号』は、全長約10メートルの立派な中型クルーザー（4人乗り以上のヨット）。その名は、スペイン・マドリッド近郊の、世界遺産に認定されている古都に由来しており、アカモリ時代とは隔世の感があります。実は、クルーザーで活動している団体は全国でも都市大を加えわずか8大学（東大、防衛大、神戸大、甲南大、慶応大、日大、明治学院大）。これらの大学で全日本学生外洋帆走連盟（ANIORU）を設立し、毎年3月のANIORU'sカップの開催をはじめ、年間を通じて密な交流を図りつつ、互いに切磋琢磨しているそうです。

ランフェス号の係留地は、三崎市油壺の隣にある諸磯湾。部員（クルー）たちは、試験期間などを除く毎週末、泊まりがけで諸磯に赴きます。

通常の練習では、まずセイル（帆）を張るなど艤装と呼ばれる準備を整え、天気図や風の具合を読み取って出航の可否を判

断。出航後は、主として湾内でたくさんのワイヤなどを操りながらセイルで風を捉える技術を訓練します。時には外洋へと繰り出すこともあります。 「何より一番に心がけているのが安全であること」と、主将の福岡達也君（環境情報3年）は強調します。



外洋でのクルージング

都市大ヨット部では、年間を通して前期にクルージング、後期は主にレースに向けた鍛錬をしています。

「夏休みのクルージングでは、数週間がかりで目的地までの巡航、観光、帰港を行います。レースのためだけに練習している大学もありますが、僕たちはクルージングも大切にしています。洋上のヨットはまさに孤立した空間。しかも自然という人知を超えた巨大な存在と真正面から対峙しなければなりません。そこで長期間寝食を共にすることで、先輩後輩男女の別を超えたクルー同士の連帯感、信頼感、倫理観が養われ、これがひいては安全の確保につながるのです」（福岡君）

その間の食事当番や天気図作成は1年生の役割。建築学科



美しい空と海を満喫



メンテナンスも練習のうち

1年の森陽介君は「慣れない調理に閉口した」と言いますが、「美しい海や島影は全ての苦勞を吹き飛ばしてくれました」とも。同じく1年の小林翔介君(エネルギー化学)も、「天気図を書いていたらひどい船酔いに。でも、夏クルージングは人生最高の思い出です」

### 創部50周年の節目を迎え 「フランスへ」を合い言葉に一致団結

ヨット部では週末以外にも2年生以下の陸上トレーニングを行っています。「多摩川の河川敷を二子玉川辺りまで走って、腕立て、腹筋、背筋を行ってから戻ります」と、保田卓哉君(電気電子2年)。「1年生を指導することで、自分自身に上級生としての良い意味での自覚が芽生えます」とのこと。

また、日々の練習で技術や体力の向上に努めることに加え、アランフェス号を管理するという大切な仕事もクルーの役目。「この船は今14年目。老朽化していますが、欧米では20年、30年と乗り続けることも少なくありません。僕らも愛情を持って艇と接し、しっかりメンテナンスしていきたいと思っています」と、艇体管理と整備を担当する機械工学科2年の後藤一樹君。福岡君が「船の至る所に、僕たちや先輩たちの思い出が染みついていますから」と続けると、その言葉にみんな大きく頷きます。

さてクルージングと並ぶ部活動の大きな柱が、レースへの参加。決められたコースを周回しながら順位を競うもので、他のヨットの前に出て風を遮るなど、速さというより、臨機応変な判断

力が勝敗を左右する頭脳戦です。

都市大ヨット部では、ANIORU'sカップに向け、2月に2度の強化合宿を行うなど、最終調整に入ります。

今でこそ部員数13名と安定していますが、福岡君たちが1年生で入部した時、ヨット部には4年生しかおらず、その翌年(2009年度)のカップには最高学年として臨むこととなりました。「先輩がいないのも大変でしたが、一番つらかったのは、レース合宿中の雪。寒いどころか、

全身凍りました」と笑うのは、情報科学科3年の堤綾音さん。「でも、泣きたいくらい苦しいことの方が、後になって宝石みたいに心の中で輝くんですよ」

結果、昨年度のカップでは総合5位に終わりましたが、「予選レースでは1番にもなったんです。大学に入って、初めてヨットに触れて、そして1番になれたことは、たとえそれが予選であっても素晴らしい成功体験です」と熱っぽく語るのは当時1年だった都市工学科2年の大石純矢君。確かに、その戦いぶりは、上級生を欠く中、上出来といえるのではないのでしょうか。

ANIORU'sカップの優勝校は、フランスでのヨットレースに参加することができます。都市大はまだ一度も優勝経験がありませんが、福岡君は「今年度は、昨年の経験者が揃っているので、優勝を目標にがんばりたいと思います」と、主将らしく力強く宣言してくれました。

創部50年の節目の年、「フランスへ!」を合い言葉に、持ち前の団結力をさらに強める都市大ヨット部。その輝かしい航跡を私たちも見つめ、応援したいと思います。



主将の福岡達也君は、「出航したら、必ず何か大切なことをひとつ学んで帰ることになるんです」



「ヨットは女性も楽しめるスポーツ。洋上に出ると、自然に力がわいてきます」と、堤綾音さん。



「3年生なしでも船を出せるようがんばりたいですね」と、体育会連絡員兼主務の大石純矢君。



ANIORU担当の保田卓哉君は、「部内はもちろん、他大学との付き合いで人間の幅が広がります」



「愛情を持って船と接すると、船もその気持ちに応えてくれます」と整備担当の後藤一樹君。



調理が苦手の森陽介君は、「料理はやっぱり食べる方が得意です。早く1年生入ってこないかな」



入部の動機は、「風が心地よくて」と、詩人のような小林翔介君。実は試乗会のBBQにつられたとの噂。

横浜キャンパス

“映像制作”というスキルを武器に学内外に活動の幅を広げてきたい!

# 映像メディアサークルCue<sup>キュー</sup>



顧問：中村 雅子(情報メディア学科教授)  
 学生責任者：水沼 広明(情報メディア学科3年)  
 部員数：13名

## 主な活動

- 5月 横浜祭出展作品制作
- 6月 横浜祭/定期制作
- 7月 交流校共同制作
- 9月 夏合宿/文化女子大学文化祭作品共同制作
- 10月 定期制作
- 11月 TCU祭
- 1月 懇親会

## 活発とは言えなかった同好会をメンバーの気持ちをひとつにして活性化

環境情報学部のある横浜キャンパスを拠点に活動する同好会の中で、唯一映像制作に取り組んでいるのが、この『映像メディアサークルCue』。設立は約5年前のことですが、現代表の徳山博章君(情報メディア2年)が語るによれば、「前代表の水沼さんら現3年生が2年生になるまでは、あまり活動的な団体ではなく、学祭などイベントの際に映像制作を手がけるくらいでした」

中興の祖ともいえる水沼広明君(同3年)は、「立派なカメラも、編集ソフトもあり、部員もいる。与えられているものを活用しないのは怠惰なだけだと思ったんです」と、当時を述懐します。手始めに水沼君たちは、メンバーを2~3名のグループに分け、毎月1本ずつ映像作品を制作することに決めたそうです。

「実際には、2ヶ月に1本くらい、それもショートフィルムしかで

きませんでしたが、最初の1作が形になってサークル内で上映会を開いたときはおかしいやら感動するやら」と、藤平一平君(同)。その記念すべき作品のタイトルは、『ネットサーファー・ジョニー』。引きこもり青年の心模様を描いた社会派ドラマで、主役を務めた関健太君(同)は、「たまたま友人に誘われて被写体になったのですが、このサークルのオープンで何でも議論できる雰囲気に引き込まれてしまいました」と語ります。

以来Cueメンバーの結束は強まり、毎週定期的にキャンパス内の大演習室でミーティングを開いて意見交換を繰り返しながら、矢継ぎ早にショートフィルムを制作。脚本、撮影、編集など、映像制作の技術を磨きつつ、やがて次のステップを目指すことにしました。

「内輪の上映会をやっているだけでは、結局自己満足に終わってしまいます。何かコンテストに応募しようと思ったのです」(水沼君)。彼らがターゲットに選んだのは、千葉市が主催する

『千葉市シティセールスCMコンテスト』。千葉市の魅力をアピールする30秒の商業映像に応募しました。

「千葉の特産物であるピーナッツと梨をポップなビジュアルと音楽とで表現してみました。結果は残念ながら落選。でも、これを機に外向きのアピールに対して抵抗がなくなりました」(藤平君)



編集ソフトを駆使して映像をブラッシュアップ。



横浜祭展示作品。創作サークルAlice、環境サークルEco-Worksと共同制作。キャラクターの名前は「チクリン」。



横浜祭「TCU48」企画に参加し、演出用映像を制作。「TCU48」終演後の写真。



千葉シティセールスCMコンテストのワンシーン。インパクトのあるCMを目指した。



昨年夏に制作したコメディ。

## 女性の感性を加えて、さらに作品のクオリティーを上げていきたい

コンテストへの応募に続いて、同会が試みたのが、他団体とのパートナーシップの強化。手始めに、2010年6月のTCU横浜祭で、横浜キャンパスの愛好会であるマルチメディア研究会ALICE、同じく同好会のEco-Worksと共同で、竹炭を販売するためのプロモーションビデオを制作しました。また、以前から交流のあった文化女子大学の企画集団fuseとのコラボレーションによる映像制作にもこれまで以上に力を入れたそうです。

8月には代替わりをして、新たに徳山君が新代表に就任し、サークル初の夏合宿を、9月14日～16日まで熱海で実施しています。「ひとつにはメンバー間の意思疎通を円滑にするため、もうひとつは映像制作に関わる技術を3年生の先輩から継承してもらうためでした」(徳山君)

高校時代から映像制作に関心があったという情報メディア1年の神保英君が、「僕が入会したときには、すでに活気あふれるサークルでした。この大学に進学したのも、サークルに入ったのも、将来映像関係の仕事に就きたいから。自己実現を果たすためにも、ここでもっと編集や撮影の力を養いたい」と語ると、すかさずその横から3年生の関君が「僕がいい演技をして、全力でサポートするよ。就活の合間を縫って」と絶妙のタイミングで合の手を入れます。どうやら先輩後輩の隔てなく、メンバー間の

コミュニケーションはばっちり良好なようです。

さて、そんな和気藹々としたCueの今後ですが……

「このサークルは映像制作ができるんだ、ということをもっと学内に広く周知したい。たとえば、横浜だけではなく、世田谷や等々力キャンパスのサークルから、『こんな企画があるんだけど、手伝ってくれない？ 映像を作ってくれない？』と依頼されるようになったら嬉しいですね。もちろんコンテストにももっと積極的に応募して。僕たち3年は原則として後方支援に回り、あとは徳山君たちに未来を託しますが(笑)」(水沼君)。実は本稿を取材したのは2010年10月。ちょうど11月に世田谷キャンパスで行われるTCU祭に出品するため、新たな映像制作に取りかかっているところでした。

地道な活動を積み重ねて、徐々にその地歩を固めつつある映像メディアサークルCue。最後に、未来を託された新代表の徳山君に一言お願いしました。

「今のところ男所帯ですが、映像制作というクリエイティブな仕事には女性のしなやかな感性が不可欠。ぜひとも女子学生に加入してもらい、一緒に制作の醍醐味を味わってもらいたいですね。あと、映像作品というフレームにとらわれず、ゲームなどさまざまなジャンルに取り組んでみたいとも思っています」

まだようやく形になり始めたばかりのCueですが、彼らの明るい表情の中に、確固とした未来像が垣間見えた気がしました。



「これからは徳山君にがんばってもらい、自分はサポートに回ります」と、前代表の水沼広明君。



「このサークルの醍醐味は、自分自身を自由に表現できる」と撮影担当の藤平一平君。



数々の名作(?)で主役を演じた関健太君は、「被写体になることで内気な性格が一変しました」



新代表の徳山博章君の抱負は、「もっと僕たちの存在をアピールして、“使ってもらおう”こと」



「ずっと映像に興味がありました。動画制作と編集に携われたのが感動的」と1年生の神保英君。

等々力キャンパス

国内外の世界遺産を探訪し、楽しみながら、文化を、歴史を体感する。

# 世界遺産研究会



顧問：岩村 和夫(都市生活学科教授)  
 学生責任者：佐藤 良純(都市生活学科2年)  
 部員数：32名(うち女子会員16名)

主な活動

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 研究会
- 6月 鎌倉遠足 / 研究会
- 7月 世界遺産検定受検 / 研究会
- 8月 夏期合宿(国内)
- 9月 国内遠征(予定) / 夏期海外遠征
- 10月 TCU桐華祭参加 / 研究会
- 11月 世界遺産検定受検 / 京都、奈良遠征
- 12月 クリスマスパティー
- 2月 春期海外遠征
- 3月 春期合宿(国内)

## 世界遺産の素晴らしさを知るために まずは知識を蓄積することが大切

本学が東京都市大学と改称し、都市生活学部と人間科学部が等々力キャンパスに誕生した2009年。世界遺産研究会もこの新しいキャンパスで新生の名乗りをあげました。創設メンバーで、学生代表の佐藤良純君(都市生活2年)は都市生活学部都市生活学科の第1期生。「入学式で仲良くなった7人ほどの仲間、楽しみながら勉強し、将来の役にも立つようなサークルを作りたいね、という話になり、ちょうど目にした世界遺産検定のパンフレットに、『コレだ!』と(笑)」

環境分野の権威、岩村和夫教授を顧問に戴いて、登録会員数の規定をクリア。大学への愛好会設立申請を6月に提出し、7月にサークルは正式発足しました。

活動の主眼は、「実際に世界遺産を訪ねて、その素晴らしさ、歴史や文化の奥深さを体感すること」と佐藤君。そのためには、まず世界遺産とは何かを知り、各地の遺産についてのきちんとした知識を獲得しなければなりません。そこで、佐藤君らは毎週1回、等々力キャンパスの1教室で、2時間半ほどの研究会を行うことに。

「研究会というより、学習会。年に2回行われる世界遺産検定の合格に向けて、目的意識を持って取り組むことにしました」と語る佐藤君自身、マイスター、1級、2級、3級まである検定の、すでに2級をパスしています。

その間、09年9月には栃木県日光市で初の夏合宿も開催。ユネスコ世界遺産委員会で文化遺産に登録された日光の社寺を見学し、メンバーの親睦を深めるとともに、“本物”から放たれる存在感を肌身で感じました。



検定合格に向け研究会を実施

翌年2月、「念願の海外遠征へ。サークルの公式活動としてでなく、有志4人の旅行という形式でしたが、イタリアのローマ、フィレンツェ、ベネチアを訪ね、世界遺産の醍醐味を満喫してきました」

こうしておよそ1年間。佐藤君をはじめ創設メンバーが中心となって運営してきた世界遺産研究会に、2010年4月、新1年生が加入することになりました。

## サークルとして初の海外遠征を予定。 メンバー全員が主体的な意思を持って活動する

積極的な勧誘の甲斐あって、会員数は一気に32名に。引き続き検定合格を視野に入れた研究会を開催しながら、6月には、という経緯で世界遺産となるのかを知ることも大切と、認定を目指す鎌倉市役所に赴いて担当者から話を聞き、併せて古都鎌倉の散策を楽しむ遠足を実施しています。そして7月、1年生の

希望者9名が初めて世界遺産検定に挑戦。結果は……「8人が3級をクリア。合格率約90%は自慢できると思います」(佐藤君)

実は佐藤君、シラバスや予想問題集を作成し、事前に徹底した試験対策を行ったというのです。

「佐藤さんの指導を受ければ3級合格間違いなし」と、工学部都市工学科1年の小沢明弘君が言えば、「佐藤さんに教わったポイントをおさえて、あとは自分なりに過去問などを使って勉強したら結構簡単に合格しました」と、野田友紀子さん(都市生活1年)、坂野博子さん(同)も口を揃えます。

「研究会はこれまで僕が主宰してきましたが、今後は合格した1年生たちにがんばってもらおうかと」と、微笑む佐藤さん。その好成績にまんざらでもなさそうです。

8月には再び日光での夏合宿を敢行。9月にも男性5人でレンタカーを借りて、広島～長崎～石見銀山を巡る国内遠征を行いました。

「途中、太平洋戦争の際、化学兵器の製造を行い、地図から消された島と呼ばれた大久野島に寄りました。世界遺産に限らず、歴史全般への理解が深まります」(小沢君)

10月の第2回TCU桐華祭では、東京都市大学新聞でも紹介されるほどのこもった展示を行い、見事『学生有志部門賞』を獲得。1年生ながら副代表を務め、学祭責任者を任された菅原美穂さん(都市生活)は、「これまで行ったところの報告と、これから行きたいところの事前調査を、パワーポイントなどを使って紹介しました。思ったよりもたくさんの方に来ていただき、いろいろと質問もしてもらい、感激しました」。



ベネチア～ gondolaraからリアルト橋を眺む～



10年9月の国内遠征。日本が誇る世界遺産、安芸の宮島にて

11年2月の春休み中には、サークルとして正式に海外遠征を断行し、チェコ、ポーランドなど東ヨーロッパ諸国を、12日間かけて巡る予定。旅行会社と交渉しながら、安全で、しかも格安のプランを作るのだといいます。

「服飾デザインに興味があるので、視野を広げるためにも世界中の都市や遺産を見て回りたい」と、佐藤奈月さん(同)。世界遺産検定で最上級のマイスターを目指したいと語る岡航君(同)も、「このサークルと出会って、人生が変わったように思う。調べたり、覚えたり、見て感じるのがこんなに楽しいなんて、高校時代には想像もできませんでした」と、本当に満足している様子。

「少人数のグループで興味のあるところに遠征し、あとで報告書をまとめるようにすれば、結果としてサークル全体の実績もあがるのでは」と提案するのは、都市生活1年の小林静香さん。「私は沖縄が大好き。ガウディの建築に興味があるので、いつかはスペインも訪ねたいですね」

会員それぞれの意見を尊重しながら、より良いかたちを作っていきたい、とまとめる佐藤君。設立1年というままだできたてほやほやの世界遺産研究会から、将来楽しみな人材がたくさん巣立ってくれそうです。



創設メンバーで学生代表の佐藤良純君は、「たくさんのお出逢いが、僕たちを成長させてくれます」



「きちんと勉強してから行くと、普通の観光では得られない充実感があります」と、小林静香さん。



佐藤奈月さんは、「世界遺産は、デザイン的に見てもとても素敵。将来のために役立ちそうです」



自他共に認める世界遺産大好き人間の岡航君は、「東ヨーロッパへの遠征には絶対行きたい!!」



「こつこつ勉強して、サークル内3位の成績で検定合格!」と大喜びの野田友紀子さん。



「世界遺産をテーマに活動するサークルは、日本広しといえども珍しいんです」と坂野博子さん。



「佐藤会長に頼りすぎているので、もっと自立しなきゃ」と、責任感溢れる副代表、菅原美穂さん。



「来年は世田谷キャンパスからもっと多くのメンバーを獲得したい」と会計補佐の小沢明弘君。

## 第2回 TCU桐華祭

### 『芽から華へ』

平成22年度TCU桐華祭運営委員会 会長 須長 千明  
人間科学部 児童学科2年

2010年10月10日(日)、等々力キャンパスにて第2回TCU桐華祭(以下、桐華祭)を無事に終えることができました。開催にあたり、ご協力頂いた地域の方々、教職員ならびに一緒に桐華祭を盛り上げてくれた世田谷・横浜キャンパスの学生に深く御礼申し上げます。

昨年度の新芽祭から桐華祭へと名称も変更し、規模も拡大して、より大きな学園祭になりました。来場者、参加者ともに人数も増え、少しずつではありますが、芽から華へと成長できたのではないかと思います。

今年度のテーマは昨年度のテーマ『交流』を基盤とし、さらに大きな交流=『えん』としました。企画を通して、さまざまな『えん』を感じて頂けたかと思えます。

昨年度も行った合同企画では、未永く桐華祭を身近に感じ、応援して頂きたいという“援”というメッセージを込め、桐の木を1枚の絵にしました。桐の葉の1枚1枚には、今後行ってほしい企画を、学生、来場者、教職員の方々からカードに書いて頂きました。皆様から頂戴したご意見は、次年度から取り入れていきたいと考えています。

イベントの締めくくりとして行ったバルーンリリースは、等々力の青空に色とりどりの風船を飛ばし、会場全体で1つの“円”となって企画を成功に導きました。初の後夜祭も開催し、その中で行われた『女装コンテスト』では、審査員として参加してくださった先生方や観客の皆さんには、出場した学生のすばらしい“演”を楽しんで頂けたかと思えます。

桐華祭の準備・開催を含め、出会った方々とのご“縁”をこれからも大切に、日々の活動に励んでいきたいと思えます。



## バンドフェスティバル

### 12組の個性が光り、観客を沸かせたバンドフェスティバル

平成22年度文化団体連合会 総務兼本部長代理 鈴木 諒平  
工学部 機械システム工学科2年

2010年10月11日(月)、渋谷のライブハウスGUILTYにて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。バンドフェスティバルは本連合会主催で毎年開催している行事で、本連合会所属の各音楽団体が参加し、日頃の練習の成果を発揮すると共に、各音楽団体間の交流を深めることで、更なる演奏技術の向上を目的としています。

本年度は、ウエスタンクラブ、フォークソングクラブ、ハワイアンクラブ、パチエラーセブン、軽音楽団体スナイパーズ、音楽団体PLAMの6団体から各2組、計12組のバンドが出場し、演奏を行いました。出場したバンドは、本連合会の中でも人数の多い各音楽団体を代表するバンドということもあり、女性ボーカルを起用したバンドや、ヘビーメタルバンド、演奏者全員がコーラスで歌うバンドなど、各バンドがそれぞれ個性を最大限に生かした演奏を行い、会場の観客を魅了していました。

15時に開場すると、次第に観客で埋め尽くされ、最終的に今年は150人の方々にご来場頂きました。身動きが取れないほど観客で埋め尽くされた会場は熱気に包まれ、次第に観客のテンションも増していき、最終的に大変盛り上がり終えることができました。

出場したバンドの方々だけでなく、観客の皆様にも楽しんで頂けたのではないかと思います。来年度もバンドフェスティバルを開催する予定です。今回来場することが出来なかった方は、是非来年お越しいただければと思います。



## 課外活動短評

- 吹奏楽団……2010年10月2日に川崎市教育文化会館で第46回定期演奏会が開催され、約200名を動員し、大好評を得た。
- 文化団体連合会……2010年10月11日に渋谷の「GUILTY LIVE STAGE」にて音楽団体の合同ライブ「バンドフェスティバル」を開催し、150名の方にご来場いただき、好評を得た。
- 天文研究部……2010年10月24日に多摩川清掃工場の「環境フェア2010」において、自作のプラネタリウムの上映を行い、7回上映し、70名ほどの来場者が訪れ、大変好評を得た。

- 空手道部……2010年10月11日に日本武道館で開催された第53回関東大学空手道選手権大会において見事優勝し、関東学生空手道連盟1部昇格を果たした。
- 硬式庭球部(女子)……関東理科大学硬式庭球連盟リーグ戦において、3部優勝により2部入れ替戦に出場し、2部昇格を果たした。
- ソフトボール部……第42回東京都大学ソフトボール連盟春季リーグ戦3部・4部入替戦勝利により4部から3部に昇格を果たした。

## 第81回 TCU祭

# 様々な「つながり」を求めて

第81回TCU祭実行委員会 実行委員長 臼倉 和也  
工学部 都市工学科3年

2010年11月21日から23日の3日間にわたり第81回TCU祭が開催されました。今年度の学園祭のテーマは「つながり」。

学園祭は、参加団体や大学の教職員、地域住民の方々、運営を手伝ってくださるスタッフなどの「つながり」があってはじめて成り立つものです。TCU祭を介して、そこに集まる人たちが新しい「つながり」を見つけたり、これまで以上に固い絆で結びついてほしい、そしてみんなが互いに励まし合い、高め合っていける関係を作ってほしいという気持ちをこのテーマにダイレクトに込めたつもりです。

今年度はプレイコートに休憩場のスペースを作り、来場してくださった方々に模擬店などの食べ物を楽しみながらステージで行われている企画などを見てもらい、親睦を深めてもらうことができました。

また、食堂入り口では来場者の方々に「さり気ないつながり」をテーマにコメントを残して頂きました。2日目には「Connection」の文字がそのコメントで埋まり、たくさんの大きな「つながり」を完成させることができました。

子供向けに開いた科学体験教室や、就職を目前にした学生向けの内定者懇談会等々、来場してくださった方々に「つながり」を感じていただけるような企画がたくさんあり、多くの方々のご参加により企画が大変盛り上がりしました。

天候にはあまり恵まれませんでしたがお越しいただいた皆様、そして開催するにあたり協力していただいた方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

来年度のTCU祭も心よりご来場をお待ちしております。



## 事務局便り

会員の皆様には、日頃より学生行事、課外活動に対して御理解を賜り有難うございます。東京都市大学は校名を変更して2年目になり、本学は益々飛躍しようとしています。学術面は当然ですが、課外活動面でも素晴らしい成果を挙げております。学生部としては、課外活動、生活指導、厚生の分科会を中心に教職員が一丸となって学生が過ごしやすい環境を実現するよう日々取り組んでいます。

私は、9月に地方で開催された「大学と保護者との連絡会」に出席しました。多くの保護者の方々が参加され、有意義な意見交換を行うことができました。最近の就職状況の悪化から大学の具体的な支援策について質問が出ました。当日は、近況報告でも紹介しましたが、改めて就職支援プログラムについても御説明し、御理解いただきました。Uターン就職に関する質問もあり、OB組織である武蔵工業会との連携も必要であると感じました。

これからも社会のために貢献する人材を輩出するように学生の教育・指導を行っていく所存ですので、引き続き皆様からの御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。



横浜キャンパス副学生部長  
諏訪 敬祐

環境情報学部 情報メディア学科 教授

# ◆◆平成22年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成22年度の「大学と保護者との連絡会」は9月4日(土)から始まり、最終日の10月2日(土)東京・横浜地区までの間、全国22会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

## ◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月 4日(土)	札幌全日空ホテル	10
秋田	9月 4日(土)	アキタパークホテル	8
仙台	9月 5日(日)	ホテルコムズ仙台	17
宇都宮	9月 4日(土)	ホテルニューイタヤ	29
郡山	9月 5日(日)	チサンホテル郡山	13
水戸	9月 4日(土)	ホリデイ・イン水戸	30
高崎	9月 4日(土)	ホテルメトロポリタン高崎	23
新潟	9月 5日(日)	ホテルオークラ新潟	14
さいたま	9月 4日(土)	浦和ワシントンホテル	30
世田谷	10月 2日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	712
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	111
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	288
甲府	9月 4日(土)	ホテル談露館	18
長野	9月 5日(日)	ホテルJALシティ長野	20
富山	9月11日(土)	富山第一ホテル	14
三島	9月11日(土)	ホテルエルムリージェンシー	43
静岡	9月12日(日)	ホテルアソシア静岡	54
浜松	9月11日(土)	オークラアクトシティホテル浜松	25
名古屋	9月12日(日)	名古屋国際ホテル	20
広島	9月11日(土)	リーガロイヤルホテル広島	9
大分	9月11日(土)	大分東洋ホテル	12
福岡	9月12日(日)	ホテル日航福岡	17
合 計			1517

## ◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	10	9
青森	1	0
岩手	1	1
宮城	11	14
秋田	10	2
山形	6	5
福島	21	17
茨城	57	54
栃木	49	48
群馬	29	33
埼玉	76	67
千葉	63	72
東京	314	280
神奈川	547	501
新潟	21	18
富山	9	10
石川	5	3
福井	4	7
山梨	25	35
長野	31	29
岐阜	5	6
静岡	146	137
愛知	15	17
三重	6	3
滋賀	1	1
京都	0	0
大阪	0	0
兵庫	1	0
奈良	0	0
和歌山	2	0
鳥取	0	0
島根	1	1
岡山	3	1
広島	6	10
山口	3	6
徳島	0	1
香川	2	2
愛媛	1	2
高知	2	8
福岡	14	15
佐賀	1	0
長崎	2	3
熊本	0	0
大分	12	3
宮崎	3	2
鹿児島	1	4
沖縄	0	8
合 計	1517	1435

**TCU-COM**  
2011.January

no.  
**43**

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局  
電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160  
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp